

## 地域課題の共有・協議について

## ◆スケジュール

|     | 自立支援協議会日程     | 発表部会   | 発表シート提出締め切り   |
|-----|---------------|--------|---------------|
| 第1回 | 令和6年7月2日(火)   | 相談支援部会 | 令和6年6月10日(月)  |
| 第2回 | 令和6年10月10日(木) | 生活支援部会 | 令和6年9月10日(火)  |
|     |               | 当事者部会  |               |
| 第3回 | 令和7年1月24日(金)  | 就労支援部会 | 令和6年12月24日(火) |

## ◆その他

- ・各部会からの発表時間は、40分程度を予定しています。
- ・様式は、裏面の「様式例」のとおりです。

第 回 三鷹市障がい者地域自立支援協議会  
 地域課題の共有・協議について(発表シート)  
 (令和 6 年 月 日)

部会長  
 (発表者)

発表内容

|                    |   |
|--------------------|---|
| 部会名                |   |
| テーマ                | 以下の第三期三鷹市障がい者(児)計画の課題から、テーマを選択してください。<br>1. 障がいに対する理解の拡充<br>2. 安心して暮らせる地域づくり<br>3. 障がいのある人の自己決定の尊重と相談支援機能の強化<br>4. 生活支援と家族支援の充実<br>5. 就労を含めた社会参加の推進<br>6. 一人ひとりの状況に応じた切れ目のないサポートの提供 |
| 具体的な内容・事例          |   |
| 協議会の場で行いたいこと       | 以下より、協議会の場で行いたいことを選択してください。<br>・ 意見交換<br>・ 情報共有<br>・ 他事例の提供<br>・ その他( )   |
| 協議の結果を受けた、今後の部会の予定 |   |
| その他                |   |

第1回 三鷹市障がい者地域自立支援協議会  
地域課題の共有・協議について(発表シート)  
(令和6年7月2日)

発表者 部会長 大野 通子

|           |   |
|-----------|---|
| 部会名       | 相談支援部会  |
| テーマ       | <p>以下の第三期三鷹市障がい者(児)計画の課題から、テーマを選択してください。</p> <p>7. 障がいに対する理解の拡充<br/>8. 安心して暮らせる地域づくり<br/>⑨. 障がいのある人の自己決定の尊重と相談支援機能の強化<br/>⑩. 生活支援と家族支援の充実<br/>11. 就労を含めた社会参加の推進<br/>⑫. 一人ひとりの状況に応じた切れ目のないサポートの提供</p>  |
| 具体的な内容・事例 | <p>(1) 自立支援協議会相談支援部会ではこれまでの活動共通するテーマ<br/>「ライフステージによって切れ目のない支援を実現する」</p> <p>○高齢分野との連携として、障害福祉サービスと介護福祉サービスの制度間で切れ目なく支援できるよう、平成30年度から高齢者支援課や地域包括支援センターと情報交換会や事例検討会を実施し、お互いのサービス内容や課題の共有を図ってきた。</p> <p>○子ども分野との連携として、放課後等デイサービス事業者の増加など障がい児への支援が拡充する中で、より良い支援のためには、障がい児から障がい者への移行期における連携が必要と考え、子ども関連分野との連携を図った。</p> <p>○これらの取り組みを基に、令和5年度も引き続き、「ライフステージの変化に対応し切れ目なく支援をつないでいく体制の整備～切れ目のない支援の実現に向けたより良い連携に向けて・家族支援を中心に～」をテーマに事例検討をとおり、協議を深めた。</p> <p>以下にこれまでの取り組みをとおり得た地域課題を述べる。</p> |

## 令和2年度

### 子ども分野との連携

#### 【テーマ】

子ども発達支援センターや相談支援事業所、放課後等デイサービス等の役割や特徴について情報共有を図り、相互理解を深める。

#### 【地域課題】

・セルフプランでサービス利用の方がおり、成人のサービス利用にあたりライフサイクルを通して、その人を知る支援者が不在になることが課題と感じた。

## 令和3年度

### 高齢分野との連携

#### 【テーマ】

ライフステージによって切れ目のない支援を実現する。

グループワークによる事例検討を通じて、「高齢者福祉」「障がい者福祉」「生活保護(生活困窮者支援)」の支援者が、どのような連携体制を整える必要があるか、などについて考える。

#### 【地域課題】

・社会資源として夕方～夜のサポート、緊急の巡回などがあるとよい。

・本人に向けての支援を組み立てる際に、支援者同士の話し合いの時間を持つなど、カンファレンスの手法なども検討していくことが大切では。

・65歳になるときにスムーズに移行できるよう、障害福祉サービスから介護保険サービスへの流れや仕組みなどを整理してほしい。

・立場や役割によって得意、不得意があるので、支援機関同士で連携していきたいと思っている。

### 子ども分野との連携

#### 【テーマ】

グループワークによる事例検討を通じて、障がい児から障がい者への移行期にどのような連携体制が必要かなどについて考える。

#### 【地域課題】

・いつ、どこに、何を伝えるのか、全体像を共有する必要がある。連

携マップがあるとよいのでは。

- ・保護者、学校、計画相談、医療、子ども家庭支援センターなどを含めて、情報共有のためのケースカンファレンスが必要ではないか。
- ・家族をまるごと支援できるような部署があるとよいのでは。
- ・事例のように問題のある家庭がSOSをだせる相談支援体制の構築が必要。横のつながりを深めていくことが重要である。
- ・学校で作成している「生活支援シート」が十分に活用できていない現状がある。「トライアングルプロジェクト(文部科学省)」を推進できるとより良い連携体制が構築できるのではないか。
- ・支援が途切れやすい学校の入学・卒業時などの節目には、ケースカンファレンスなどで早めに支援者がつながれるとよい。
- ・家族支援が必要な家庭もある。家族全体を支援する包括的な支援の窓口がないのは課題(ワンストップの窓口だと良い)。

## 令和4年度

### 子ども分野との連携

#### 【テーマ】

「障がい「児」→「者」への移行期におけるより良い連携について～切れ目のない支援の実現のために～」

#### 【地域課題】

- ・児童期における支援制度(放課後等デイサービスの提供事業者の増加等)が拡充する中で、障がい「児」→「者」への移行時における連携
- ・これまでに支援(学校+医療+行政)→現在の支援(学校+医療+行政+福祉サービス提供事業者)と変化する中、成人サービスの提供事業者への切れ目のない連携

## 令和5年度

### 高齢・子ども分野との連携

#### 【テーマ】

「ライフステージの変化に対応し切れ目なく支援をつないでいく体制の整備～切れ目のない支援の実現に向けたより良い連携に向けて・家族支援を中心に～」

#### 【地域課題】

|              |  |
|--------------|--|
|              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階での関係機関との連携の必要性</li> <li>・包括的にケースをマネジメントする必要性</li> <li>・計画に反映されたのちの実行性のある支援の確立</li> <li>・家族全体を支援する方策</li> <li>・これまで共有した地域課題をどのように解決していくのか出口を見据えた支援</li> </ul> <p>(2) 今後地域課題解決に向けた具体的な検討事項</p> <p><b>子ども分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布特別支援学校では実施している「トライアングル(家庭、教育、福祉)」プロジェクト(文科省)を府中けやきの森学園や地域の学校でも取り組むこと</li> <li>・長期休みの放課後等デイサービスの長時間の受け入れ(学童並みの受け入れ)体制を整えること</li> <li>・一般相談窓口の充実(児童の相談もできる地域活動支援センターを増やすなど)</li> <li>・児童が利用できる短期入所施設の充実</li> <li>・歩ける医療的ケア児も移動支援の利用ができるようにすることなど</li> </ul> <p><b>高齢分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険利用半年～1年程前から丁寧な説明を実施していくように計画相談や地域包括支援センターに積極的に協力を願う</li> <li>・介護保険移行後もサービスの質は低下させないことを障がい者支援課(今もしてくれていると思うが)からも伝えていくなど…</li> </ul> <p><b>障がい分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中一時支援の充実(市内で、日中一時支援を実施しているところは余りありません)など</li> <li>・グループホームの充実</li> <li>・移動支援ヘルパーの普及活動など</li> </ul> |
| 協議会の場で行いたいこと | <p>以下より、協議会の場で行いたいことを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 意見交換</li> <li><input checked="" type="radio"/> 情報共有</li> <li>・ 他事例の提供</li> <li>・ その他( )</li> </ul>  |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 協議の結果を受けた、今後の部会の予定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年7月17日(水)10時～<br/>三鷹市障がい者地域自立支援協議会相談支援部会企画会</li> <li>・令和6年10月17日(木)10時～(予定)<br/>第1回三鷹市障がい者地域自立支援協議会相談支援部会(事例検討)</li> </ul> |
| その他                | <p>相談支援部会では、部会の開催に向けて企画会を数回開催している。企画会を開催することで開催目的が明確となり、充実した部会の運営が行われている。</p>   |

① スケジュール

② その他

- ・ 各部会からの発表時間は、40分程度を予定しています。